



地盤は悪夢を知っていた

—地盤に残る地震痕跡—

地盤に残されたメッセージを読み解き
重要な教訓を後世に伝える一冊

公益社団法人 土木学会 地震工学会
地盤と地形に刻まれた地震・災害痕跡データの
公開促進小委員会 編
執筆代表 小長井 一男

第1版第1刷発行：2021年7月31日
第1版第2刷発行：2021年11月30日
定 価：935円（本体850円＋税10%）
土木学会会員特価：850円（税込）



<https://committees.jsce.or.jp/eec228/node/8>



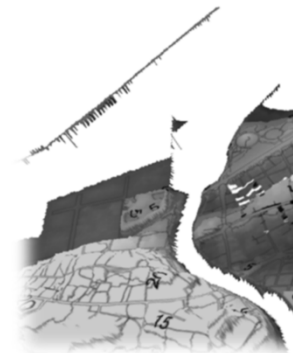
土木学会・地震工学委員会
001

目次

- 第一章 地震災害痕跡は多くを物語る
- 第二章 2018年北海道胆振東部地震
—火山碎屑物に覆われた大地に残る地震痕跡—
- 第三章 2016年熊本地震
—火山碎屑物に覆われた大地と断層—
- 第四章 2011年東日本大震災（その一）
—東京湾岸の液状化痕跡—
- 第五章 2011年東日本大震災（その二）
—津波で根こそぎ引き抜かれたビル—
- 第六章 2007年中越沖地震
—丘陵の縁辺部で生じた地盤変形—
- 第七章 2004年中越地震
—活褶曲地形と地震—
- 第八章 2000年鳥取県西部地震
—身近な災害痕跡を読み解く知恵—
- 第九章 1948年福井地震
—九頭竜と河川堤防—
- 第十章 1847年善光寺地震、1923年関東大震災
—土石流の脅威—

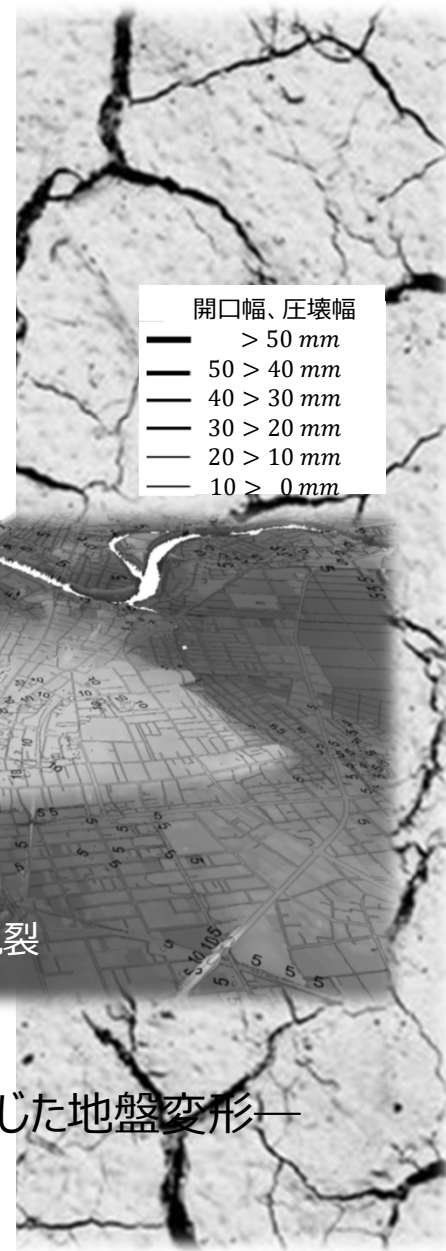
長享二年（二四八八年）
十月九日 万里州九

深泥、股を没して、力、
彌（いよいよ）微なり。
暮鼓（ぼこ）、鼙々（ぺいぜい）
やうとうとして、
柏崎に就く。
民戸三千、市場の面。
満棚（まんぼう）の
鱒尾（ますび）、潮を
帯びて肥ゆ。



舗装道路に現れた亀裂

第六章 2007年中越沖地震 —丘陵の縁辺部で生じた地盤変形—



開口幅、圧壊幅	
—	> 50 mm
—	50 > 40 mm
—	40 > 30 mm
—	30 > 20 mm
—	20 > 10 mm
—	10 > 0 mm